談話室 (開催報告)

2016 年中部支部市民講座

市 村 正 也

名古屋工業大学

☎ 466-8555 愛知県名古屋市昭和区御器所町

(2016 年 8 月 19 日受理)

Report on Public Lectures in Chubu Branch, 2016

Masaya ICHIMURA

Nagoya Institute of Technology, Gokiso-cho,
Showa-ku, Nagoya, Aichi 466-8555

(Received August 19, 2016)

中部支部の市民講座が、7 月 30 日 (土) に名古屋工業大学で開催された。今年のテーマは「昔のカメラ、未来のカメラ —表面科学で学ぶイメージング (撮像) 技術—」である。講座は 4 件の講演と実演で構成された。

「湿版写真：江戸時代の写真技術」後藤敬典 (名古屋工業大学名誉教授)

「デジタルカメラの仕組み」市村正也 (名古屋工業大学)

実演：「湿版写真の撮影と現像」

「胃カメラってどんなもの？/診る・撮るだけではないカメラ」岡崎次生 (オリンパス(株))

「服の下の不審物を発見！ミリ波カメラの原理と応用」武田政宗 (マスプロ電工(株))

「人間の目、カメラの目～見たままを写す写真術」中原仁 (名古屋大学)

後藤先生は、江戸から明治期に撮影された写真を紹介しつつ、その技術について解説された。実演においては、慶応 3 年 (1867 年) の古文書に残されているレシピをもとに薬品を調合し、ガラス板にその薬液を塗って屋外で風景を撮影した。現像定着をして風景がガラス板上に現れたときは参加者から拍手が起こった。

つづいて市村がデジタルカメラ技術の基礎を簡単に紹介した後、新しい技術を紹介する後半の講演が行われた。岡崎先生には、年々小型化しつつ高性能化している胃カメラについて、過去の開発の歴史も含めて解説していただいた。武田先生は、物体から放射されるミリ波をとらえるパッシブなミリ波カメラの技術を紹介し、衣服

Fig. 1. (color online). Dr. Goto is demonstrating the wet collodion process.

Fig. 2. (color online). Collodion photograph, where we can see a building and a car.

などを透視する能力を活かしセキュリティ対策に有用であることを説明された。最後に中原先生が、写真は撮る人の主観が表れるものであり、そのことを意識して積極的に主観を出すことで満足のいく写真が撮れることを説明された。

参加者は 31 名だったが、これは学会役員も含めた数字であり、一般の市民の方の参加はこの半分程度にとどまる。内容的には十分魅力的だったと思うが、PR の努力が十分ではなかったかもしれない。今後、より有効な PR 手段を検討する必要がある。他の支部などで PR に成功した例があれば、ご教示いただければ幸いです。

最後に、暑い中お越しいただいた参加者の皆様、講師の先生方に深く感謝いたします。ありがとうございました。